

旅客自動車運送事業のためのデジタル化の手引き

—生産性向上や働き方改革、利用者サービス向上を目指して—

生産性向上や働き方改革、利用者サービス向上の実現には、
デジタル機器等の活用が効果的です
このデジタル化の手引きは、デジタル機器等の基礎知識から
業務実態に合った活用法まで事例を含めて解説します



はじめに

旅客自動車運送事業者を取り巻く環境

バスやタクシーは私たちの生活に欠かせない交通インフラとなっています。しかしながら、コロナ禍や人口減少の影響により、地域の交通を支える多くの旅客自動車運送事業者の事業環境・経営環境が悪化しています。そのような事業環境・経営環境の悪化に対応するため、生産性の向上や利用者サービスの向上によって、持続可能な経営を実現することが求められています。

持続可能な経営に向けて

持続可能な経営のために必要な生産性向上・利用者サービス向上には、デジタル機器やシステム(以後、「デジタル機器等」)の活用が効果的です。アナログからデジタルに移行することで作業にかかる手間や時間を減らし、業務効率化やコスト削減を行い、利用者利便性の向上まで繋がられることもあります。そのため、国土交通省では旅客自動車運送事業者の経営改善に役立つデジタル機器等の機能や活用状況・活用事例を調査し、旅客自動車運送事業者がデジタル機器等を導入・活用していくためのデジタル化の手引きを作成しました。

デジタル機器等を導入・活用しましょう

本手引きでは乗合バス事業、貸切バス事業、タクシー事業それぞれの業務フローと関連するデジタル機器等を一覧化し、どのような経営課題の解決に役立つかをまとめています。また、実際にデジタル機器等を導入した事業者の事例を紹介しています。今こそ、これまでの業務を見直し、経営改善に役立つデジタル機器等やその導入効果を知ることで、これからの事業に活用できないか検討してみましよう。

※デジタル機器等による経営改善の効果を大きくするためには、導入するだけにとどまらず、効果検証やその結果を受けた改善の実施など、サイクルを回すことが肝要です。また、デジタル機器等の特徴として、データが取得できることがあります。取得できるデータの活用まで検討してみましよう。

目次

1. 旅客自動車運送事業の業務フローと関連するデジタル機器等

1. 乗合バス事業	3
2. 貸切バス事業	4
3. タクシー事業	5

2. デジタル機器等の効果と有効活用に向けた要点

1. 運行計画及び運行管理業務へのデジタル機器等の活用	8
2. 安全管理業務へのデジタル機器等の活用	12
3. 勤怠管理業務・収入支出管理業務へのデジタル機器等の活用	14
4. 利用者利便性向上・その他業務へのデジタル機器等の活用	17

3. 導入事例紹介

事例概要一覧	21
事例1 運行管理支援システム(イーグルバス株式会社の例)	22
事例2 運行管理支援システム(三重交通株式会社の例)	23
事例3 乗務日報自動作成システム(有限会社南ぬ島交通の例)	24
事例4 ODデータ・乗降人数等自動集計システム (関越交通株式会社、永井運輸株式会社の例)	25
事例5 クラウド型タクシー配車センター(株式会社双葉タクシーの例)	26
事例6 乗務員の健康・体調検知システム(有限会社奥州交通の例)	27
事例7 乗務シフト自動作成システム(遠州鉄道株式会社の例)	28
事例8 勤怠管理システム(大平交通株式会社の例)	29
事例9 ICカード等キャッシュレス決済システム(会津乗合自動車株式会社の例)	30
事例10 車内空間を活用したデジタル広告(有限会社ハロータクシーの例)	31

4. デジタル化の流れと留意点

デジタル化の流れと留意点	33
--------------	----

別添

デジタル化の留意点の詳細解説